

近世文化展示室 守屋壽コレクション「長崎とオランダ・中国」展示資料一覧

第30回：令和5年12月1日（金）～令和6年1月28日（日）

章	No.	資料名	年代	製法	形態	概要
第1章	1	肥前長崎図	享和元年（1801）	木版色摺	額装	江戸時代後期初頭の長崎の様子を描いた地図。
	2	琉球国図	文化8年（1811）	絹本着色	卷子装	元禄2年（1689）から元禄15年（1702）の間の長崎の景観を描いた絵巻。本作品は、元々中国皇帝のために作られた資料を模写したものとみられる。
第2章	3	長崎図（市中絵巻）	江戸時代 （18世紀頃）	紙本着色	卷子装	唐人屋敷ができるまでは、中国人は長崎市中を自由に行動することができた。本作品は、その時代の様子を後に描いたものとみられる。
	4	長崎版画「唐人屋舗景」	安永9年（1780）頃	木版彩色	一紙	長崎での中国人の居留地として作られた「唐人屋敷」の様子を描いた摺り物。
	5	長崎版画「唐人船揚り天后聖母入寺ノ図」	江戸時代 （18～19世紀頃）	木版合羽摺	一紙	長崎で土産物として作られた長崎版画の一つ。中国人が長崎に到着後、船内の神様（媽祖）を唐寺に移動させる儀式を描いたもの。
	6	長崎版画「蛇踊囃方」	江戸時代 （18～19世紀頃）	木版合羽摺	一紙	長崎で土産物として作られた長崎版画の一つ。中国人の祭りの様子を描いている。
	7	長崎版画「饗宴の図」	江戸時代 （18～19世紀頃）	木版合羽摺	一紙	長崎で土産物として作られた長崎版画の一つ。中国人の食事の場面を描いている。
第3章	8	モンタヌス「出島図」	1669年	銅板彩色	額装	オランダ人のモンタヌスが著した日本に関する著作『日本誌』に収録された挿絵の1枚。
	9	長崎版画「オランダ人饗宴の図」	江戸時代 （18～19世紀頃）	木版合羽摺	一紙	長崎で土産物として作られた長崎版画の一つ。オランダ人の食事の場面を描いている。
	10	林子平「和蘭船図説」	天明2年（1782）	木版彩色	軸装	江戸時代後期の思想家・林子平が絵と説明文を描き、自ら出版したオランダ船の図。
	11	長崎土産	嘉永元年（1848）	木版	冊子	長崎で出版された、長崎の名物や名所を紹介した冊子。
	12	長崎紀行	文化3年（1806）刊	木版	冊子	名古屋の商人が長崎に旅行した際の紀行文。滞在先の長崎屋道中の見聞が記録されている。